

平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

「福祉用具の適切な貸与に関する普及啓発事業」を全国で展開

I 【選定提案】の作成

本会は、平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業として、「福祉用具の適切な貸与に関する普及啓発事業」に取り組んだ。具体的な内容は、次の2点である。

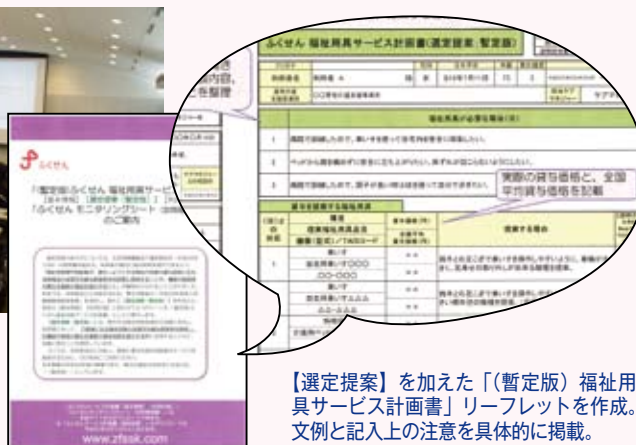
福祉用具専門相談員が、貸与の候補となる福祉用具について、全国平均価格等の説明や、機能や価格帯の異なる複数の商品を提示する際に使用する【選定提案】の様式を作成。平成29年9月に開催されたHCR、2017では、【選定提案（暫定版）】を発表した。【基本情報】【利用計画】と合わせて【暫定版】福祉用具サービス計画書は、福祉用具サービス計画の立案やご利用者への説明時には業務の助けとなり、また、適切に業務を実施した記録ともなる。

Ⅱ 普及啓発活動の実施

普及啓発委員会を設置し、全国に向けた普及啓発活動を行った。説明会は、全国4会場（東京・大阪・福岡・宮城）で開催した。今後、各地で展開していく普及啓発活動の先駆けとなる。



全国から、ブロック会員 44 名、賛助会員 29 名が出席した普及啓発委員会。ゲストスピーカー(写真中央)は、小林毅氏(厚生労働省老健局高齢者支援課福祉用具・住宅改修指導官 介護ロボット開発・普及推進官(当時))。 於：東京ビックサイト 2017.09.28



【選定提案】を加えた「(暫定版)福祉用具サービス計画書」リーフレットを作成。文例と記入上の注意を具体的に掲載。

[illegible]

様式は、本会ホームページ（www.zfssk.com）からダウンロードし、利用することができる。

完成！
【選定提案（確定版）】

平成30年4月使用開始のため、検討を続けてきた「ふくせん福祉用具サービス計画書」（確定版）が完成した。暫定版を基に検討を重ね、説明会などを通して様々な意見を集約、意見交換等を経て、完成したもの。

暫定版からの主な変更点は、2点。1点目は【利用計画】の同意欄に代筆者名を追加。2点目は【選定提案計画】が複数枚になった場合の対応。

制度改正 福祉用具専門相談員の業務フロー

はどう変わる?!

社会保障審議会介護保険部会（平成28年12月）の意見書を踏まえ、平成30年改正では、福祉用具貸与に関して大きな動きがあった。

福祉用具専門相談員の新たな役割

介護保険制度による福祉用具の利用にあたって、「福祉用具サービス計画」の作成が福祉用具専門相談員に義務づけられたのは、平成24年4月。以来、ご利用者の個別ニーズに対応し自立支援に資する提案を行ってきた。そこに新たに求められるのが、全国平均価格等の説明と機能や価格の異なる複数商品の提示である。

【全国平均価格等の説明】

ご利用者に商品Aを提案する場合、自社の貸与価格に加えて、厚生労働省のデータを用い、商品Aの全国平均貸与価格を提示する。そこには、地域特性や、サービス内容、輸送コストなど個別ケースの実態に応じて差異が生じる。福祉用具専門相談員は、その金額の根拠を明示す

るとともに、ご利用者やご家族に対してわかりやすい説明を行わなければならない。必要に応じて、再評価を提示してもよいだろう。

また、価格の上限も、専門職として、欠かせない情報である。

【機能や価格の異なる複数商品の提示】

アセスメントの結果などを踏まえて商品Bを提案する場合、その選定理由を付すほか、異なる機能を持つ商品Cや、同様の機能で価格帯が異なる商品Dなど、目的に対して複数の商品を提案する。

この複数提案は、原則として、車いす付属品・特殊寝台付属品を含む全ての福祉用具（種目）が対象である。なお、適応する機種が複数流通していない場合は、その旨をサービス計画書に記載、説明する。

ご利用者の選択の幅は広がるが、情報量が増える分、説明・提示をする福祉用具専門相談員の力量が問われることとなる。

全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議開催

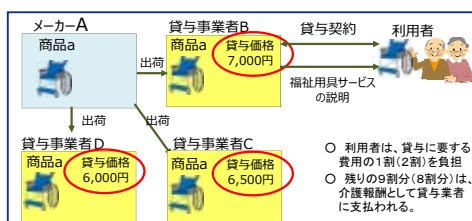
去る平成30年3月6日、全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議が厚生労働省講堂で開催された。

福祉用具の保険給付の適正化について

①介護給付費明細書への商品コードの記載……平成29年度10月貸与分（11月請求分）から、介護給付費明細書にT A I Sコード又は福祉用具届出コード（以下商品コード）を記載。福祉用具製造事業者又は輸入事業者は、T A I Sコード又は福祉用具届出コードの取得が必須となる。

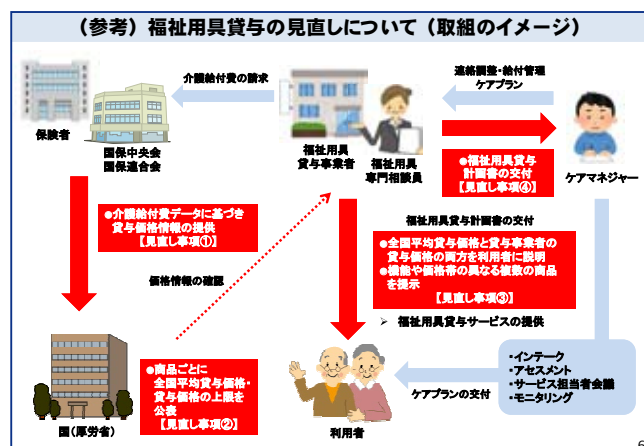
②全国平均貸与価格の公表、貸与価格の上限を設定……全国平均貸与価格及び貸与価格の上限を公表する（平成30年度7月開始予定）。

平成30年担当課長会議



▲ 第148回介護給付費分科会資料P4より

平成31年度以降、新商品についての全国平均貸与価格の公表及び貸与価格の上限設定は、3ヶ月ごとに1度行い、公表後は、概ね1年に1度見



▲ 第148回介護給付費分科会資料P6より

住宅改修の見直しについて

①事前申請時の見積書の様式を国が示す（改修内容、材料費、施工費等の内訳が明確に把握できるもの）。
②複数の住宅事業者から見積りを取るよう、ケアマネジャーが利用者に説明。
③建築の専門職や福祉の専門職の適切な関与や、保険者の取組の好事例（住宅改修事業者への研修会等）の周知。

以上



▲ 講師を務めたのは、[写真左] 東島弘子氏（国際医療福祉大学大学院教授）、[写真右] 山本一志本会事務局長

★ 老健事業先陣は東京会場。

老健事業説明会			
開催地	開催日	講師	参加者数
宮城県	2018/2/13	東島弘子氏	116名
★ 東京都	2017/11/21	東島弘子氏	67名
大阪府	2017/12/22	渡邊愼一氏	179名
福岡県	2018/1/19	渡邊愼一氏	95名

普及啓発説明会・研修会				
開催地	開催日	コラボレーション	講師	参加者数
北海道	2018/2/22	パラマウントベッド ウェルファン	岩元文雄氏	180名
青森県	2018/1/23		岩元文雄氏	80名
岩手県	2017/11/14		金沢善智氏 山本一志氏	71名
秋田県	2017/12/8		金沢善智氏	66名
山形県	2018/2/10		平嶋由人氏 渡邊愼一氏	53名
福島県	2017/12/14		山本一志氏	73名
茨城県	2018/1/19		山本一志氏	89名
栃木県	2018/3/15		岩元文雄氏	51名
群馬県	2018/3/7		岩元文雄氏	44名
埼玉県	2018/2/9		金沢善智氏	98名
千葉県	2018/2/3		小林 毅氏 山本一志氏	40名
東京都	2017/11/16	世田谷区（☆P4参照）	小林 毅氏 山本一志氏	48名
	2017/12/12	パラマウントベッド	東島弘子氏	200名
	2018/2/6	パラマウントベッド	東島弘子氏	107名
	2018/3/20		東島弘子氏	62名
神奈川県	2017/11/9		金沢善智氏 山本一志氏	17名
新潟県	2017/12/12		金沢善智氏	67名
富山県	2018/1/17		岩元文雄氏	95名
石川県	2017/11/14		岩元文雄氏	66名
	2018/2/16	パラマウントケアサービス	渡邊愼一氏	47名
福井県	2018/3/21		小林 毅氏 岩元文雄氏	46名
山梨県	2018/1/12		山本一志氏	38名
長野県	2017/11/8	ウェルファン	山本一志氏	46名
	2017/12/8	パラマウントベッド	山本一志氏	77名
岐阜県	2017/10/16	日福協岐阜主催イベント	成田すみれ氏 山本一志氏	108名
静岡県	2018/2/7		山本一志氏	86名
愛知県	2018/2/2		岩元文雄氏	102名
三重県	2018/1/26		平嶋由人氏 金沢善智氏	97名
滋賀県	2018/1/15		山本一志氏	58名
京都府	2018/1/27		小林 毅氏 岩元文雄氏	211名
	2018/2/6	ウェルファン	金沢善智氏	96名
大阪府	2018/1/18	パラマウントケアサービス	岩元文雄氏	105名
兵庫県	2018/1/27		小林 毅氏 岩元文雄氏	95名
奈良県	2018/2/14		山本一志氏	53名
和歌山県	2018/2/15		山本一志氏	64名
鳥取県	2018/1/20		左向祐太氏 岩元文雄氏	43名
島根県	2018/1/19	パラマウントベッド	岩元文雄氏	56名
岡山県	2017/10/24		岩元文雄氏	76名
広島県	2017/12/9		平嶋由人氏 岩元文雄氏	118名
山口県	2018/3/9	パラマウントケアサービス	渡邊愼一氏 岩元文雄氏	100名
徳島県	2018/3/16	パラマウントケアサービス	岩元文雄氏	133名
香川県	2018/2/14	※日福協香川主催イベント	小林 毅氏	
愛媛県	2018/1/24	愛媛県福祉サービス協会イベント	渡邊愼一氏	98名
高知県	2017/12/5	パラマウントベッド	金沢善智氏	38名
福岡県	2017/12/7	日福協福岡主催イベント	岩元文雄氏	50名
	2018/2/23	安寿会 福岡	岩元文雄氏	57名
佐賀県	2018/2/6	ウェルファン	海田尚広氏	52名
長崎県	2017/11/25		岩元文雄氏	56名
熊本県	2017/11/30	安寿会 熊本	東島弘子氏	120名
	2018/1/19		海田尚広氏	53名
大分県	2018/1/25	ウェルファン	海田尚広氏	71名
宮崎県	2017/12/2		佐藤愼吾氏 岩元文雄氏	83名
鹿児島県	2017/10/7	鹿児島県社会福祉協議会 イベント	岩元文雄氏	87名
	2018/1/29		岩元文雄氏	121名
沖縄県	2018/1/20		平嶋由人氏 渡邊愼一氏	62名



ブロック活動「福祉用具の適切な貸与に関する普及啓発事業」を展開！
5か月弱で参加動員4700名を突破！！

各県ブロックは、行政やケアマネ協会などへのアプローチを含む周知・集客活動を行い、説明会・研修会を開催した。更に、賛助会員や団体（同表）の協力もあり、ブロック未設置県（左表）も全て網羅し、短期間で全国47都道府県60会場、4700名超の参加を得ることができた。

世田谷区(東京都)講演会

講演会 世田谷区講演会を開催

H29・11・16

去る平成29年11月16日、世田谷区介護保険課と共催で、講演会「平成30年度介護保険制度における福祉用具貸与の改正点について」を開催した。

講師を務めたのは、厚生労働省老健局高齢者支援課福祉用具・住宅改修指導官の小林毅氏と山本一志本会事務局長。小林氏は、厚生労働行政の中での介護保険制度における福祉用具や住宅改修の施策について、現状とこれまでの経緯、改正ポイントなどを語った。



ふくせんブロック活動報告②

岡山県ブロック新設!

去る2017年10月24日、「岡山県ブロック設立総会及び設立記念研修会」が開催されました。ブロック会員は35名。三好勇輝氏(株式会社アイルリンク)がブロック長に就任し、副ブロック長は、石崎大介氏(フランスベツド株式会社西日本事業部中国支社メディカル岡山営業所所長)が選出されました。

総会に引き続いて、設立記念研修会が開催され、岩元文雄本会理事長が講師を務めました。



▲設立総会の様子。スピーチする三好ブロック長

事務局より

『福祉用具サービス計画作成ガイドブック 第2版』を発行します!



A4判 約180頁
2018年5月発行予定

福祉用具専門相談員必携のガイドブックの改訂版。ふくせん新様式「選定提案」に完全対応しています。

※中央法規出版外課にて予約受付中。
会員特価2527円(一般価格2808円)



ふくせんレポート 第021号

発行所 一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会
〒108-0073 東京都港区三田 2-14-7 ローレル三田 404
TEL: 03-5418-7700 FAX: 03-5418-2111
URL: <http://www.zfssk.com/>
発行日 2018年3月31日 編集協力 株式会社 東京コア

		賛助会員各位 ※いつも協力ありがとうございます。